

経営比較分析表（令和2年度決算）

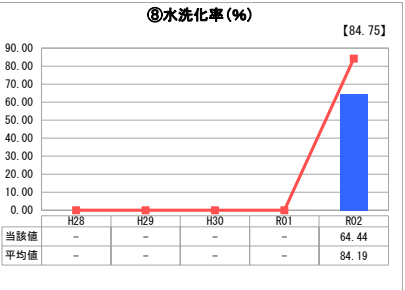
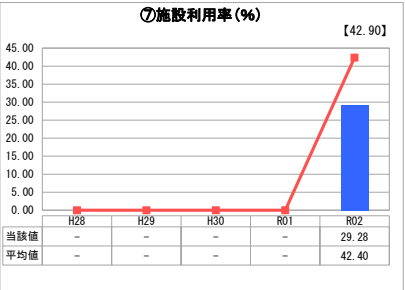
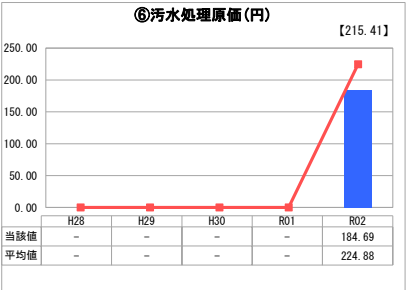
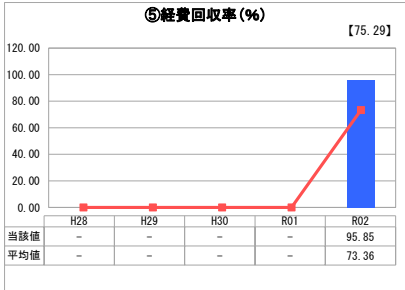
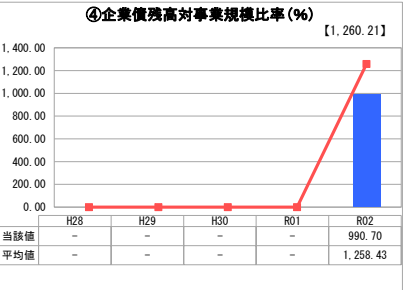
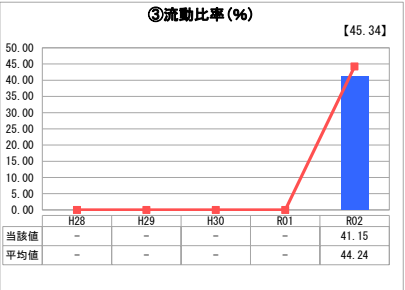
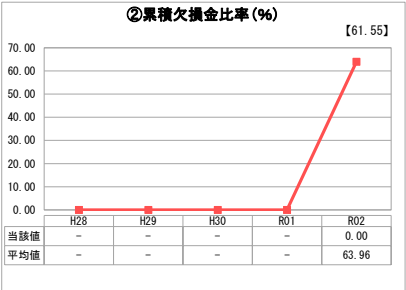
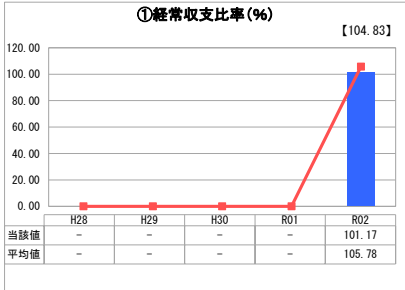
大分県 杵築市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	58.14	8.48	94.19	3,570

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
28,235	280.08	100.81
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,376	1.21	1,963.64

グラフ凡例
■ 当該団体の値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

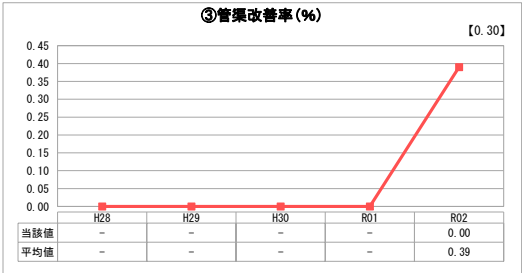
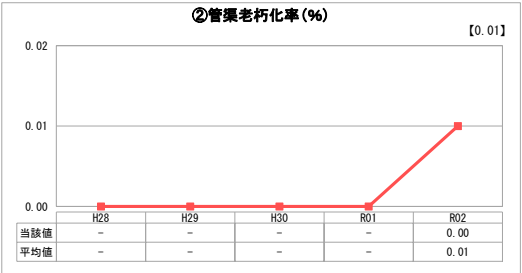
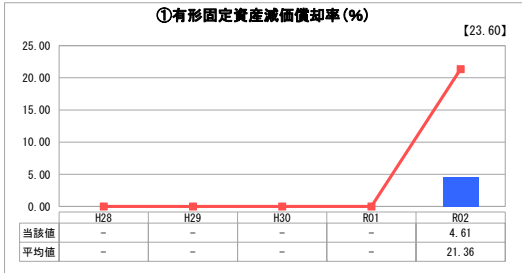
1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度から地方公営企業法の一部適用をしたため比較対象となる前年度の数値はない。
①経常収支比率は、一般会計からの繰入もあり100%を超えているが、類似団体平均を下回っているため更なる経営改善を目指す必要がある。
③流動比率は、改築更新等起債を財源とした事業を実施しており、起債の借入額が多いことが流動比率が低くなっている要因と思われる。更なる収入確保により流動資産の確保が必要である。
④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均に対して低くなっている。整備区域内の整備が完了していることが要因と思われる。
⑥汚水処理原価は類似団体平均値を下回っている。今後も費用削減等に努める。
⑤経費回収率は、類似団体平均値は上回っているものの100%を下回っている。また、⑦施設利用率は類似団体平均を下回っており、いずれも⑧水洗化率の伸び悩みが要因と思われる。水洗化率は類似団体平均を下回っていることから更なる接続率向上のための働きかけを行う必要がある。

2. 老朽化の状況について

①令和2年度が法適用初年度であり、減価償却累計額としては1年分しか計上されていないため、類似団体平均より低くなっているが、供用開始後約20年経っているため、処理場施設等について、ストックマネジメント計画を策定し計画的な改築更新を行っている。
②、③管渠の耐用年数は経過していないものの、下水道施設のライフサイクルコストの最小化や計画的な予防保全による安全性の確保のため、ストックマネジメント計画を策定し運用している。

2. 老朽化の状況



全体総括

経費回収率100%を上回っているものの、施設利用率が低く、更なる経営改善を図る必要がある。要因の一つとして水洗化率が低いことがあげられることから、接続率の向上により使用料収入の確保に努める。また、令和4年度から農業集落排水の一部を統合することにより、施設利用率の向上を見込んでいる。
老朽化対策としては、現在策定中のストックマネジメント計画をもとに施設の計画的な改築更新を行いライフサイクルコストの最小化や平準化を図っていく、適正な施設管理を行う。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。